

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	3	教科書	高等学校 改訂版現代文B (第一学習社)		
副教材等	高等学校 改訂版現代文B 学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	<p>1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。</p>
学習の方法	<p>・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。</p> <p>・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	評論1 「自明性の罟」からの解放	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読み、その構成・展開・要旨などを、文脈に即して的確に読み取ります。 ・現代社会の自明性についての文章を読み、思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 ・自他の関係性について考え、人間関係について話し合います。 	B	-	-	A	B
	評論1 自他の「間あい」	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性をとおして、人間とは何かについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	-	-	B
1 学期 末	小説1 山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた場面や登場人物についての的確に捉えます。 ・虚構性をとおして、人間とは何かについて考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	-	A	B
	評論2 「私」中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・言語と自我の構造の関係、事実とその解釈の問題について、考えを深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	A	-	B
2 学期 中間	評論3 存在としての建築	<ul style="list-style-type: none"> ・木造とコンクリートという素材の相違点についての的確に把握します。 ・建築を通して、表象と存在について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	-	A	B
	小説2 こころ	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、登場人物・情景・心理などの描写を的確に捉えて味わいます。 ・人生への関心を深め、自己の形成に資するようにします。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	-	A	B
2 学期 末	評論4 働かないアリの意義がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ムシ社会とヒト社会の比較を通して、組織について考えをまとめます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	A	-	B
	評論5 動的平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・生命観の移り変わりを読み取り、動的平衡論について話し合います。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	-	-	B
学 年 末	詩 永訣の朝他	<ul style="list-style-type: none"> ・詩・短歌・俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解し、自分の表現に役立てます。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	A	-	-	B
	評論6 「グローバル化」の中の異文化理解	<ul style="list-style-type: none"> ・近代化とグローバル化が進む世界における自文化と異文化理解について考えを深める。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	-	A	B
	小説3 葉桜と魔笛	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を読み、そこに描かれた人間・時代について、表現に即して理解します。 ・小テスト、ノート、定期考査 	B	-	-	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	高等学校改訂版古典B 古文編 高等学校改訂版古典B 漢文編（第一学習社）		
副教材等	高等学校改訂版古典B 学習課題集古文編（第一学習社）、高等学校改訂版古典B 学習課題集漢文編（第一学習社）				

学習の目標	<p>1 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てます。</p> <p>2 古典に親しむことで言語感覚を豊かにし、文化を理解する力を養います。</p>
学習の方法	<p>・予習では、ノートに本文、文法、口語訳などを記入しておきます。また、音読をしましょう。</p> <p>・授業中は、口語訳や文法の確認を中心にを行います。しっかり聞いて、予習の段階で分からなかったところを確認しましょう。</p> <p>・復習では、学習課題ノートを解いて、学習した内容を定着させましょう。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	古文（説話）	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が主張している内容について整理します。 登場人物の心情や人物像を、表現に即して考えます。 庶民性や平俗性といった特色を理解する。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（故事・寓話）	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情を理解します。 漢文に頻出する語彙や句法を確認し、現代語訳します。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
1 学期 末	古文（随筆1）	<ul style="list-style-type: none"> 中世の無常観を理解し、その背景を考えます。 文中の助動詞の意味・用法について理解する。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（古代の史話）	<ul style="list-style-type: none"> 古代中国の人々の考え方や生き方を読み味わい、自らの考え方をまとめる。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2 学期 中間	古文（物語1）	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の関係を、敬語の使われ方から理解します。 文中の助詞・助動詞の意味・用法について理解します。 物語の特徴を比較し、文学世界を味わう。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（名家の文章）	<ul style="list-style-type: none"> 句法や頻出の語彙に注意しながら現代語訳します。 登場人物の人柄について考察します。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
2 学期 末	古文（随筆2・物語2）	<ul style="list-style-type: none"> 随筆から筆者の観察眼と美的感覚を理解します。 物語の内容を理解し、古典の世界を理解を深めます。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（項羽と劉邦）	<ul style="list-style-type: none"> 句法に注意しながら書き下し文・現代語訳を整理します。 人物関係を整理し、それぞれの性格を読み取ります。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
学 年 末	古文（日記・物語3）	<ul style="list-style-type: none"> 本文全体を通して、作者の主張を読み取ります。 本文中の敬語について理解します。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	漢文（漢詩の鑑賞・思想）	<ul style="list-style-type: none"> 詩の情景や心情を読み味わいます。 各詩の詩型及び押韻を確認します。 孔子・孟子・老子が導く「人間像」を考察します。 孔子の理想する政治論について理解する。 行動の観察、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A	B
	古文（和歌・俳諧）	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景や文化を踏まえて、和歌を詠み味わいます。 中国の文化との比較を通して理解を深めます。 行動の観察、ノート、小テスト 	B	—	—	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	詳説世界史 改訂版 (山川出版社)		
副教材	最新世界史図説タペストリー十五訂版 (帝国書院)				

学習の目標	<p>1 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて理解します。</p> <p>2 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。</p>
学習の方法	<p>・歴史的事項について、単に暗記しようとせず歴史の流れや同時代史的な横のつながりの把握や歴史的意義の理解が大切です。授業を集中して受けましょう。</p> <p>・家庭学習では復習に重点を置き、資料集も活用する習慣を身に付けよう。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 オリентと地中海世界	<ul style="list-style-type: none"> ・文明発祥の地であるオリент文明と地中海に成立したギリシア、ローマ文明、及びその相互の関わりについて考察します。 ・ノート、定期考査 	B	B	—	A
	第2章 アジア・アメリカの古代文明	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジア、東南アジアの風土・自然を理解し、そこに成立した文明について学びます。 ・ノート、白地図作業、定期考査 	B	A	B	B
1 学期 末	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジアの歴史を学ぶとともに文明が交錯した場としての内陸アジアの歴史的意義について考察します。 ・ノート、白地図作業、定期考査 	B	B	B	A
	第4章 イスラーム世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の自然・風土とその発展を理解し、イスラーム世界の多様性について考察します。 ・ノート、小テスト、定期考査 	B	A	—	B
2 学期 中間	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立・発展について学び、ヨーロッパ世界の特質について考察します。 ・夏休み課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア諸民族と宋の抗争などについて学び、内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を考察します。 ・ノート、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 末	第7章 アジア諸地域の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質について学び、その中の日本の位置付けを理解します。 ・ノート、定期考査 	B	A	—	B
3 学期	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの繁栄とヨーロッパの拡大を背景に、諸地域世界の結合が一層進んだことを理解します。 ・冬休み課題プリント、小テスト、定期考査 	A	B	—	B
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・東西ヨーロッパの展開の違いが19世紀以降の歴史に大きく影響を及ぼすことについて考察します。 ・ノート、定期考査 	B	A	B	B
	主題学習 時間軸からみる諸地域世界	<ul style="list-style-type: none"> ・同時代性に着目した主題を設定し、世界史を空間的なつながりに着目して整理し、表現する技能を習得します。 ・レポート 	B	A	B	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)		
副教材等	最新日本史図表 初訂版 (第一学習社)				

学習の目標	日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、広い視野に立って理解し、日本の伝統と文化の特色について認識を深めます。また、歴史的思考力を培い、日本人としての自覚と国際社会に主体的に生きる資質を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を基本教材としつつ、資料が豊富な副教材も適宜活用します。 ・定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 ・意欲・関心を持って主体的に学習に取り組み、復習を怠らないようにしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> ・文明の成立過程を道具や文化に着目しながら学習し、必要となった新しい技術・概念やその意義について考えます。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
	第2章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・律令国家の成立過程を国際関係に着目しながら学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
1 学期 末	第2章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・律令国家体制の組織や奈良時代の権力闘争について学習し、文化の特色と成立の背景について考えます。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	第3章 貴族政治と国風文化	<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など、古代国家の推移、文化の特色と成立の背景について考えます。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 中間	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・院政と平氏の台頭、鎌倉幕府について、成立過程や背景について学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
	第4章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の土地支配と公武関係、大陸との関係、仏教の動向に着目して、中世国家と文化の特色について学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 末	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・大陸との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下克上などを通じて、中世社会の多様な展開について学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して中世社会の文化の特色と成立の背景について考えます。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
3 学期	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権の成立について、その特色や社会の仕組みについて学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	A	B	B	B
	第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度や儒学の役割、文化の特色に着目して学習します。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第7章 幕藩体制の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成について、生活や文化の特色とその成立背景について考えます。 ・学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理A	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 新地理A（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）		
副教材	フォトグラフィア地理図説2018（東京法令出版）				

学習の目標	地理では、現代世界の抱えている諸問題を、身近なところから世界的規模まで空間的な広がりの中でとらえて考察する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・地図帳や作業地図などを活用して、自然環境、産業、さまざまな人々の生活・文化、地球的課題などの特徴や分布状況を空間的な広がりの中でとらえていきましょう。自分の知識や体験を通して、普段からさまざまな問題に興味・関心を持ち、解決しようとする前向きな姿勢を大切にしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会	・地上の現象と地球上の位置、時差、地図の図法、国家の領域と国境、日本の領域と領土問題、交通、通信、貿易について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	B	B
	2章 人間生活を取り巻く環境	・人々の生活と地形、気候、産業、文化の関連性について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	—	A
2 学期 中間	3章 世界の諸地域の生活・文化	・東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アンソロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアなどの生活や文化について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	B	A
	4章 地球的課題と私たち	・環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、都市・居住問題について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	—	B
3 学期	第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	・身近にあるさまざまな地図、GISやGPSの仕組み、情報を地図化する方法を学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	B	A	B
	2章 日本の自然環境と防災	・日本の自然環境、火山災害、地震被害、風水害、防災について学習します。 ・ノート、作業プリント、定期考査	B	A	—	B
	3章 身近な地域の課題と地域調査	・身近な地域の課題やその調査方法、調査内容のまとめ方について考えます。 ・ノート、作業プリント、定期考査	A	B	B	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	公民	科目	倫理	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 新倫理 新訂版 (清水書院)		
副教材	最新図説 倫理 (浜島書店)				

学習の目標	<p>1 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について、先哲の思想から広い視野に立って多面的・多角的に考察します。</p> <p>2 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、他者と共に生きる主体としての自己を確立させ、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を基本教材としつつ、資料豊富な副教材も活用します。 定期的に内容確認の小テストを実施し、学習内容の定着を図ります。 教科書を読み授業に臨みましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1学期 中間	第1編 現代に生きる自己の課題	<ul style="list-style-type: none"> 人間性の定義を学び、青年期の特徴や発達課題について理解し、自己の在り方・生き方を考察します。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学	<ul style="list-style-type: none"> ソクラテスやプラトン、アリストテレスなどのギリシャ思想について理解します。 学習プリント、定期考査、小テスト 	B	B	—	A
1学期 末	第2章 人生における宗教	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教やイスラーム、仏教などの宗教について理解し、人々に与えた影響を考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
	第3章 人生の知恵	<ul style="list-style-type: none"> 孔子に始まる儒家の思想や老子の道家の思想を理解するとともに、現代社会における自己の生き方について考察します。 学習プリント、小テスト、定期考査 	B	B	—	A
2学期 中間	第4章 人生における芸術	<ul style="list-style-type: none"> 美や芸術の概念を理解し、人生における芸術の意義を考えます。 学習プリント、レポート、定期考査 	B	B	A	—
	第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題	<ul style="list-style-type: none"> 社会の合理化の過程と近代社会の特質をとらえ、科学技術の発展と現代の倫理的課題について考察します。 学習プリント、定期考査 	B	B	A	—
	第2章 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンス以降の先哲の思想を理解し、人間の尊厳や生命への畏敬、自己実現と幸福などについて倫理的考え方を身に付けます。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
2学期 末	◎東洋と西洋の思考	<ul style="list-style-type: none"> 東洋と西洋の思想について、「神」、「ことば」、「自然」をテーマに、既習の内容を踏まえレポートを作成します。 レポート、定期考査 	B	B	A	—
	第4編 国際社会に生きる日本人の自覚 第1章 日本の風土と外来思想の受容	<ul style="list-style-type: none"> 日本の風土の特徴を理解するとともに、古代の人々の考え方や仏教の受容から日本人の宗教観・倫理観について考察します。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
3学期	第1章 日本の風土と外来思想の受容	<ul style="list-style-type: none"> 日本における儒教、国学、庶民の思想、西洋近代思想について理解します。 学習プリント、定期考査 	B	B	—	A
	第2章 現代の日本と日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の日本人の新たな価値観を学ぶとともに、現代に生きる国際社会における日本人としての在り方・生き方を考察します。 学習プリント、定期考査 	B	A	—	B
	第5編 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などの倫理的課題を自己の課題とつなげて探究します。 学習プリント、レポート、定期考査 	B	B	A	—

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	数 学	科 目	数学Ⅱ・B	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	6	教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ・ 改訂版 高等学校 数学B (数研出版)		
副教材等	改訂版 教科書傍用 クリアー 数学Ⅱ+B (数研出版)、改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B (数研出版)				

学習の目標	基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。そして、それを達成するために、学力の伸長を図ります。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書と並行して、教科書傍用問題集で演習を行います。予習・復習を徹底するとともに、疑問点の解消に向けて努力して下さい。 ・学習課題は必ず行い、提出物は期限内までに必ず提出して下さい。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期 中 間	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第2節 等式・不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・等式や不等式が成り立つことの証明について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
	第2節 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・因数分解を利用して高次方程式を解くことについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
1 学 期 末	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて直線の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	B
	第2節 円	<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて円の方程式などについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	第3節 軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の性質や関係を数学的に表現することについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの基本的な概念について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
2 学 期 中 間	第2節 ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの平面図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・角の概念を一般角まで拡張して三角関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	—	A
	第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	数学Ⅱ 第5章 指数・対数 第1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
2 学 期 末	第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・対数関数について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	B	A
	数学B 第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの空間図形への応用について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	A	B
	数学B 第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	<ul style="list-style-type: none"> ・等差数列と等比数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第2節 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな数列について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B
3 学 期	第3節 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式と数学的帰納法について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分の考えについて学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	—	B	A
	第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の増減と極大・極小について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	理科	科目	地学基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	地学基礎 改訂版 (啓林館)		
副教材等	地学学習帳 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会) ・ニューステージ新地学図表 (浜島書店) ・センサー地学基礎 (啓林館)				

学習の目標	1 身の回りにある自然の事物の観察や、発生する自然現象について考察します。 2 地学を通して、科学的に思考する態度や真理を探究する姿勢を身に付けます。
学習の方法	・教科書を使って、授業をしながら板書を取る授業です。 ・岩石標本や実験などを行い、岩石の特徴や気象現象などの理解を深めます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 固体地球とその変動 (1) 地球 (2) 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> ・固体地球について、観測・計測データから理解します。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
1 学期 末	2 移り変わる地球 (1) 地球史の読み方 (2) 地球と生命の進化	<ul style="list-style-type: none"> ・地上での環境の変化や生物の進化を地層に残された証拠や化石から推察し、先史時代の歴史を理解します。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	B	B	A
2 学期 中間	3 大気と海洋 (1) 大気の構造 (2) 太陽放射と大気・海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図や日々の天気現象を原因と結果を理解しながら深めます。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 				
2 学期 末	(3) 日本で見られる季節の気象	<ul style="list-style-type: none"> ・大気圏で起こるエネルギーの収支について、大気圏に存在する物質の特徴から理解します。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 <ul style="list-style-type: none"> ・日本における季節ごとの天気図の移り変わりを、原因と結果を理解しながら深めます。 ・観察・実験、課題プリント、定期考査 	B	A	B	B
3 学期	4 宇宙の構成 (1) 太陽系と太陽 (2) 恒星としての太陽の進化 (3) 銀河系と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> ・恒星について理解し、太陽を恒星の一つと考えて学習します。 ・星の集合である銀河、とりわけ太陽系の属する銀河系について、理解を深め、銀河の存在する宇宙について体系的に学習します。 ・課題プリント、定期考査 	B	B	A	B
3 学期	5 自然との共生 地球環境と人類の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで習ったことを実生活と関連づけて学びます。 ・日本で起こりうる災害に対して、被害を小さくしたり、生きのびるためにどうすべきかを考えていきます。 ・地域の防災マップやネット上の地図サイトなどを利用し、よりリアルに防災について考えていきます。 ・課題プリント、定期考査 	B	B	—	A

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教 科	理 科	科 目	生物探究	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書			
副教材等	理科学習資料「探究」2017（高教研理科部会）、生物実験ノート2017（高教研理科部会生物部門）				

学習の目標	1 実験・実習や科学史研究を通して、「生物基礎」の内容を深く探究します。 2 探究をする過程について学び、科学的な方法を習得します。
学習の方法	・生物実験ノート等を用いて、生命現象について観察・実験を通じて学習する授業です。 ・具体的には観察・実験・作業学習のほか、一斉授業などを行います。

学 期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期	1 生態学入門 (1) 生態系の保全 (2) 探究活動	・南予地域の気候やバイオーム、外来生物や生物多様性について学習し、さらに野外学習を通じて地域の生態系の保全について体験的に学習します。 探究活動【植生調査】 探究活動【野鳥の観察】 ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	B	B	B	A
2 学 期	2 生物化学入門 (1) 代謝 (2) 探究活動 3 分子生物学入門 (1) 遺伝情報とDNA (2) 探究活動	・生物基礎で学んだ内容を発展させ、専門的な学問分野の基礎的内容について、観察・実験を行いながら探究的に学習します。 探究活動【緑葉中の色素の分離】 探究活動【DNAの抽出】 ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	B	B	A	B
3 学 期	4 生理学入門 (1) 病気と生理 (2) 探究活動	・生理学の基礎となる恒常性や免疫について、医学的な側面から学習します。解剖実習を通じて、臓器の成り立ちや組織の機能について理解を深めます。 探究活動【ブタの腎臓の観察】 ・観察・実験の観察、発表、実験ノート、行動の観察、課題プリント、定期考査	B	B	B	A

(備考) 1、2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</p> <p>2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。</p>
学習の方法	<p>・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。</p> <p>・体育理論では、座学でスポーツにかかわる生活のあり方について学びます。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動観察 	A	B	—	B
	選択1(球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
2 学期	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動観察 	A	—	—	B
	選択2(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行うことで、大きな達成感や喜びを味わい、心や体を健康にすることを学びます。 ・小テスト 	B	B	—	A
3 学期	陸上競技(長距離走)	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離を走ることにより自分と向き合い努力すること、粘り強く相手と競り合う強い心を養うことを目標にします。また、ペース配分をしたり、ペースの変化に対応するなど主体的に取り組むことができるようにします。 ・記録計測 	B	B	A	B
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	<ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各選択種目で特有の技能の基礎・基本を習得し、仲間と連携する楽しさを味わい、次の学年で高いレベルのゲームができるようにします。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切にし、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・実技テスト 	B	B	A	B
	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な動きを理解し、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学びます。 ・小テスト 	B	B	—	A

平成30年度 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	現代高等保健体育 (大修館)		
副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めます。 2 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身に付けます。
学習の方法	<p>・現代社会は、生活習慣病や薬物、心の問題など健康にかかわる問題が少なくない。また、健康の捉え方や健康のために望まれることも変化してきた。そこで現代の健康問題や新しい健康のあり方について、課題学習などを取り入れながら主体的に学習します。</p>

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の特徴と体と心の面から学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 				
	2 性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・性意識に関する男女の特徴をふまえて異性を尊重する態度が必要であることを学習します。 	B	-	-	A
	3 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な結婚生活を送るためには、心身の発達や本人・家族の健康が大きく影響することを学習します。 				
	4 妊娠出産と結婚	<ul style="list-style-type: none"> ・受精・妊娠・出産の一連の過程を理解し、胎児や母親の心身の健康問題、予防や健康のための支援について学習します。 	B	-	-	A
	5 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画の意義や方法について理解し、お互いのコミュニケーションの意義やそれにもとづく妊娠、出産、人工妊娠中絶の意思決定ができるよう学習します。 	B	A	-	B
	6 加齢と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢にともなう心身の変化を形態面と機能面から学習します。 	A	B	-	-
	7 高齢者のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の健康を支援するためにの社会的対策が種々に行われていることを学習します。 	B	-	-	A
	8 保険制度その活用	<ul style="list-style-type: none"> ・保健制度を自分にかかわるものとして理解し、自分や家族のライフステージでどのように生かすかを学習します。 	B	A	-	B
2 学期	9 医療制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な医療機関の活動内容を理解し、その利用にあたり医療費が支払われる仕組みを学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	A	-	B
	10 医薬品と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の正しい使い方を理解し、医薬品の有効性や安全性がどのように認められているかといった、医薬品にかかわる社会的な側面を総合的に知ることができるよう学習します。 	A	B	-	-
	11 さまざまな保健活動と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界においてどのような保健活動や対策がおこなわれているかを学習します。 	B	-	-	A
	Ⅲ 社会生活と健康 1 大気汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染や汚染源と汚染物質、それによる健康被害について学習します。 	B	-	-	A
	2 水質汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて甚大な被害をもたらした産業排水による水質汚濁の実態とその対策及び、こんにちの生活排水による水質汚濁の実態を学習します。 	B	A	-	B
3 健康被害防止と環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染を防ぐためにさまざまな社会政策や個人でできることを幅広く調べ、総合的な対策を考えようとする態度を身に付けます。 	A	B	-	-	
4 環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理と上下水道の整備の現状の仕組みを理解した上でそれらの問題点や対策を学びます。 	A	B	-	-	
3 学期	5 食品衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・生産や製造・加工の現場から保存・流通、販売における基準などの遵守、遵守状況における行政の監視を学習します。 ・課題プリント、ノート、定期考査 (以下同様) 	B	-	-	A
	6 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・私たち消費者が、安全な食品を確保し、環境を汚染しないために取り組むべき対策について学習します。 	B	A	-	B
	7 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことは人生において大変重要な意味を持つ一方で、働くことが原因で健康を損なうことがあることを学習します。 	A	B	-	-
	8 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害・職業病とは何か、ということについて理解した上で、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について具体的に学びます。 	B	-	-	A
	9 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における健康増進活動として、様々な専門家によって健康づくり支援がおこなわれるようになってきたことを学習します。 	B	A	-	B

(備考) 定期考査は、学期末に行う。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	MOUSA2 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を養い、豊かな感性を身に付け、音楽文化について理解を深めます。 2 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌唱、演奏、創作をします。
学習の方法	・歌唱では、曲の背景や歌詞の内容と関わらせて、イメージを持って歌います。 ・創作では、音階を選んでメロディーを作ります。 ・鑑賞では、時代背景や作曲家の人生を学びながら楽曲について考えます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学 期	歌唱 ・ハナミズキ、アレルヤ	・歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 ・発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 ・練習への取組方、実技テスト	B	A	B	-
	器楽 ・鍵盤楽器	・楽器の特徴を理解して基本的奏法を習得します。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト	B	B	A	-
	鑑賞 ・ミュージカル	・楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。 ・鑑賞プリント	B	-	-	A
2 学 期	創作 ・音階から音楽を作ろう	・歌詞を考え、言葉の抑揚に合うメロディーを作ります。 ・自分のイメージに合う音階を選び、メロディーを作ります。 ・練習の取組方、ワークシート	B	A	B	-
	西洋音楽史・楽典	・様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。 ・楽譜の書き方や、読み方について学びます。 ・ワークシート	B	A	-	-
3 学 期	創作 ・作った曲を編曲しよう	・楽曲のイメージを膨らませ、表現方法を工夫して編曲します。 ・創作への取組方、ワークシート	B	A	B	-
	器楽 ・作った曲を演奏しよう	・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏します。 ・練習への取組方、実技テスト	B	B	A	-

- (備考) 1 定期考査は、期末に実技試験を行う。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	美術2 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 1年の学習に継続し、表現力や想像力を更に伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験像を基に、主体的、個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他人の考えを尊重し自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・1年の学習を踏まえてより高度な美術作品の制作や学習を行っていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 絵画表現 うつろう 自然を描く(金屏風の制作)	<ul style="list-style-type: none"> 金屏風の制作を通して、日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めると共に、日本独特の絵画様式について学びます。 金屏風の校正の難しさや、立体的に絵を表現する面白さを味わいます。 国宝の屏風絵などの鑑賞を通して、日本美術の歴史を学びます。 アイデアスケッチ、作品、感想文 	B	A	B	B
	2 絵画表現 見えるものの向こうに(植物の細密画)	<ul style="list-style-type: none"> 植物の細密画を通して、身近にあるものを深く観察することで、対象が持つさまざまなかたちを探り、自然の造形の面白さを味わいます。 緻密な表現を通して写実表現の技法を学びます。 作品・感想文 	B	B	A	B
2 学期	3 作家の生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> アルヴァ・アアルトの生涯と作品を通して、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。 線遠近法、透視図法で自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。 アイデアスケッチ、作品、感想文 	B	A	B	B
	4 デザイン 問題を解決するデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点でトイレトペーパーホルダーのデザインを考えます。 共同でアイデアを出し合ったり、まとめたりすることで、すべての人が使いやすいデザインについて考えます。 アイデアスケッチ、作品、感想文 	B	A	B	B
3 学期	5 心の記録、想像の源 (抽象表現)	<ul style="list-style-type: none"> 抽象表現作品制作を通して、具象作品との違いや鑑賞の仕方を学び、よさを味わいます。 偶然できた色や形から着想する描画法など、様々な技法を学びます。 作品、感想文 	B	B	A	B

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

平成30年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年・学科・類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	書Ⅱ（教育図書）		
副教材					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 楷 書	<ul style="list-style-type: none"> ・1年で学習したことの復習をします。 ・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	2 行 書	<ul style="list-style-type: none"> ・書Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。 ・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
2 学期	3 草 書	<ul style="list-style-type: none"> ・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。 ・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	4 隷 書・篆 書	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。 ・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
3 学期	5 仮 名	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の特徴をとらえて、流動する仮名独特の用筆美を味わいます。 ・臨書への取り組み、作品 	B	A	—	B
	6 創作（仮名）	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌や俳句などを、古典から集字しながら創作します。 ・応用力、作品 	B	—	A	B
	7 創作（漢字）	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した臨書作品を元に、創作をします。 ・応用力、作品 	B	—	A	B

（備考）書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	4	教科書	PRO-VISION English Communication II NEW EDITION (桐原書店)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語(数研出版)、キクタン6000(アルク)				

学習の目標	<p>1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。</p> <p>2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、英語で話し合える理解力と表現力を習得します。</p> <p>3 1年次に習得した基本的なものより複雑な構文や文法を習得し、語彙を増やします。GTEC450点以上を目標とします。</p>
学習の方法	<p>・授業は、教科書の文章を家で読んでくるのが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、音読と大まかな内容把握をした上で授業に臨みましょう。自分の力でやる習慣を継続しましょう。</p> <p>・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	LESSON 1 The Freedom to Be Yourself	<ul style="list-style-type: none"> ・ボーダレスに生きる漫画家ヤマザキマリ氏の生き方から学びます。 ・理想の旅について順を追って説明する文を書けるようにします。 ・過去の習慣would、過去分詞で始まる分詞構文 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	LESSON 2 Are You Really a Sloth?	<ul style="list-style-type: none"> ・怠惰のレッテルを貼られたナマケモノの生態を知り、その行動から学びます。 ・比較・対象のパラグラフを書けるようにします。 ・助動詞+have+過去分詞、完了形分詞構文having+done ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
1 学期 末	LESSON 3 Mount Fuji - The Eternal Mountain	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山が世界遺産に登録された理由について読み、日本文化について考えます。 ・地域の名所を紹介するウェブサイトを作ることができるようにします。 ・無生物主語の構文、結果を表す不定詞 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	LESSON 4 Handwriting in the Digital Age	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやスマートフォンでは得られない手書きのメリットについて考えます。 ・手書き・タイピングの是非について話し合えるようにします。 ・倒置、前置詞+関係詞 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
2 学期 中間	LESSON 5 Designed to Change the World	<ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザインについて読み、世界の貧困問題について考えます。 ・製品を宣伝するポスターを作ります。 ・関係副詞の非制限用法、wh-ever ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
	LESSON 6 The First Olympics	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックの理念を古代ギリシアのスポーツの祭典から考えます。 ・スポーツの名場面について、感想を述べるようにします。 ・挿入、with+名詞+～ ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B
2 学期 末	LESSON 7 The Dark, Mysterious Universe Deep under the Ocean	<ul style="list-style-type: none"> ・人類未踏の深海の生命体から秘められた可能性を考えます。 ・与えられた場面にふさわしいセリフを書けるようにします。 ・さまざまな不定詞、副詞的表現とその位置 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	LESSON 8 The Story of the Teddy Bear	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンディキャップを乗り越えて生きた女性の人生から学びます。 ・いちばんうれしかったことについて話せるようにします。 ・省略、thereを用いた表現 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
3 学期	LESSON 9 Laughter is the Best Medicine	<ul style="list-style-type: none"> ・笑うことの利点を科学的に検証した文を読み、その意義を考えます。 ・笑いについての格言をつくります。 ・S+seem to ～ / It seems+that節、直接話法 ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	LESSON 10 The Underground Reporters	<ul style="list-style-type: none"> ・自由と誇りを守ろうとしたシリア人の少女少女たちから学びます。 ・登場人物の状況にあると仮定して考えを話し合います。 ・suggest that+S+(should) 動詞の原形、be+to do ・小テスト、定期考査 	B	A	B	B
	Reading 1 The Love Letter Reading 2 Humming Through My Fingers	<ul style="list-style-type: none"> ・机の引き出しに入れた手紙が80年の時を超えて2人の気持ちを伝え合った話を読みます。 ・目の見えない少女と興味本位で話かけた少年の交流を読みます。 ・小テスト、定期考査 	B	B	A	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	2	教科書	DUALSCOPE English Expression II (数研出版)		
副教材等	デュアルスコープ総合英語(数研出版)、キクタン6000(アルク)				

学習の目標	1 英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 より高度な表現や構文・文法を習得し、英文の内容や相手の意図を正しく理解し、自分の考えを効果的に表現できる英語力を身に付けます。 3 GTEC450点以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、教科書の練習問題などを家で解答していただくことが前提になります。授業中の言語活動に参加できるよう、自分の力で解答する習慣を継続しましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたことや自分の意見を表現するときに、分からないことがあれば、辞書や副教材を利用して、自分で調べてみるようにしましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中 間	UNIT 1～3 Deciding the Subjects of Sentences	<ul style="list-style-type: none"> 主語について学習します。 一般の人々/非人称のitなど、句・節/意味上の主語、無生物主語/名詞構文 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 4～7 Using the Correct Forms of Verbs	<ul style="list-style-type: none"> 述語動詞の形について学習します。 現在時制・過去時制/未来を表す表現、進行形/完了形、助動詞/受動態、仮定法 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
1 学期 末	UNIT 8～10 Using Verbs with Objects or Complements	<ul style="list-style-type: none"> 目的語と補語について学習します。 準動詞の名詞的用法、文型、使役動詞/知覚動詞 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 11～13 Modifying Nouns	<ul style="list-style-type: none"> 名詞を修飾する形容詞句・形容詞節について学習します。 分詞/不定詞/同格、関係詞の制限用法、関係詞の非制限用法/複合関係詞 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
2 学期 中 間	EXTRA UNIT 1 Nouns EXTRA UNIT 2 Articles EXTRA UNIT 3 Adjectives BONUS UNIT Prepositions	<ul style="list-style-type: none"> 名詞、冠詞、形容詞、前置詞について学習します。 小テスト、定期考査 	B	B	-	A
	UNIT 14 What Is Your Dream?	<ul style="list-style-type: none"> 目的の表現について学習します。 夢や目標についてスピーチをします。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
2 学期 末	UNIT 15 How's School Going?	<ul style="list-style-type: none"> 程度・結果の表現について学習します。 学校生活についてエッセイを書きます。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 16 Will You Join Our New Club? UNIT 17 Volunteering Is a Lot of Fun	<ul style="list-style-type: none"> 原因・理由の表現、譲歩の表現について学習します。 興味・関心があることについてプレゼンテーションをします。 社会・福祉について、グループでディスカッションをします。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
3 学期	UNIT 18 New Smart-X On Sale UNIT 19 Welcome to Kyoto	<ul style="list-style-type: none"> 比較の表現について学習します。 技術革新の是非についてディベートをします。 日本文化を紹介するポスター発表をします。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 20 Recruitment of New Employees	<ul style="list-style-type: none"> 条件・仮定の表現について学習します。 コミュニケーションの重要性についてのエッセイを書きます。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B
	UNIT 21 Appealing to the World	<ul style="list-style-type: none"> 否定の表現について学習します。 環境問題についてディスカッションをします。 小テスト、定期考査、発表 	B	A	-	B

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

平成30年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年 学科 類型	2年 普通科 I型
単位数	1	教科書	新家庭基礎 主体的に人生をつくる（大修館書店）		
副教材等	平成29年度 家庭科ノート・調理実習ノート基礎編（愛媛県家庭科教育研究会）				

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的基本的な知識と技術を習得します。 2 家庭や地域の生活課題を主体的に解決する力を習得します。 3 生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を養います。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返りながら興味・関心を持って積極的に学習に参加し、実験・実習などに意欲的に取り組み、生きるために必要に知識や技術を身に付けていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第7章 生涯の健康を見通した食生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の役割を認識し、実験や実習を交えながら学習します。 ・ノート、小テスト、調理実習 	B	B	A	B
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活に関心を持ち、実験や実習を交えながら学習します。 ・ノート、小テスト、調理実習 	B	B	A	B
1 学期 末	第8章 健康で快適な衣生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・日常多く用いられる被服材料の特徴について実験や実習を交えながら学習します。 ・ノート、小テスト、課題プリント 	B	B	A	B
		<ul style="list-style-type: none"> ・用途や目的にあった被服材料の選択や、材料に合った被服管理を実験や実習を交えながら学習します。 ・ノート、小テスト、課題プリント 	B	B	A	B
2 学期 中間	第9章 安全で快適な住生活をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能を理解し、快適に暮らせる住まいの条件を学習します。 ・ノート、小テスト、課題プリント 	B	B	—	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイル・ライフステージに応じた住まいの条件を学習します。 ・ノート、小テスト、課題プリント 	B	B	B	A
2 学期 末	第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で安全な室内環境にするため、どのような工夫が必要か学習します。 ・ノート、小テスト、課題プリント 	A	B	B	B
		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を保全するためにどのような工夫ができるか学習します。 ・ノート、小テスト、プレゼンテーションの作成・発表 	B	A	B	B
3 学期	第6章 経済生活をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任について学習します。 ・ノート、小テスト 	B	B	—	A
		<ul style="list-style-type: none"> ・経済生活の現状を把握し、経済生活の設計と管理について学習します。 ・ノート、小テスト、プレゼンテーションの作成・発表 	B	A	B	B
	生活をデザインしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしいライフスタイルを描きながら、人生の時間軸にそって生活設計を立てる学習をします。 ・ノート 	A	B	B	B

（備考） 1、2学期、実技テストを行う。